

独創的な技術力と開発力をもとに、
世の中にないものを創り上げる未知の楽しさ。



1 正しくラベルが貼付されているか瞬時に判別する装置。人の目では見逃してしまう箇所も判別できる 2 装置内のメンテナンスも自分たちの手で行う 3 創業は放送局用カメラの開発からスタートし、その後色彩選別機なども開発

製造の現場を支える

高速自動検査装置のプロフェッショナル。

高嶋技研は飲食品などの生産工場で使用する高速自動検査装置を製造しています。例えば、ペットボトルのキャップや瓶に貼られたシールなどがメーカーの規定に沿っているか、不良品がないかを出荷前に検査する装置を作っています。必要な検査項目や基準をヒアリングした後、自社で開発・設計・製造して、顧客先に設置し、稼働後のメンテナンスまで一貫して行っています。可視光線、X線などを使用したセンシングと画像処理の技術開発を重ね、現場で役立つように改良してきました。近年は医薬品、リサイクル、鉄鋼業からの相談も増え、技術を生か

せる分野が広がっています。

装置開発にあたって担当者は外観や形状、材質といったハード面の選定と設計、内部では画像処理のプログラミングやシーケンス制御などソフト面を考えます。先輩後輩が分け隔てなくチームとして携わり、全員が知恵と技術を出し合って「挑戦する心」を持ち、「世の中にないもの」を創り上げています。「技術をもって社会の発展に貢献する」「人材こそが最大かつ唯一の財産である」という理念のもと、IHIグループの一員として誇りを持ち、意欲的に取り組んでいます。

高嶋技研の「ワザ」にときめき！

独自の技術

顧客の希望を形にしていく
技術力をもった頭脳集団。

主に飲食品メーカーの工場で作られた製品に不良品が無いかを高速で自動検査する装置を開発から製造、メンテナンスまで行っています。開発した装置は人間の目では見つけにくい小さなキズを見つける装置や、密封した容器内の不良を見つける装置など多種。最速2,000本/分で流れてくる製品を全て検査することで、省人化、自動化に役立っています。顧客の検査したい項目に合わせてカスタマイズできることが、自社開発の強みです。

今後の展望

あらゆる現場において、
作業効率化の実現に挑んでいきます。

飲食品業界で培った高速自動検査の技術を、医薬品業界にも応用して、安全安心を支えて更に社会に貢献していきたいです。また人工知能やIoTなど、研究開発にも力を入れ、さらなる新しい技術を創ってまいります。



Question & Answer



技術部長
成田 弘明さん

あわらのココが好き

金津創作の森

Q 仕事にはどんな人を求めていますか？

A 明るく、楽しく、元気な人、そして、失敗してもめげず、あきらめない人です。想像したことを実現させていき、自分たちの作った製品が社会に役立っていることを誇りに思える人、ぜひ私たちと一緒に未来を創造しましょう！

Q 就職活動中の学生のみなさんへ

A コロナ禍での就職活動は大変だと思います。しかし、ご苦労されたこと、経験されたことは無駄にはなりません。自信を持って就職活動してください。苦労を経験した人は強いです！

こんな職場です

チームワーク第一、
食と会話で交流



上下関係がなく、気軽に話せる職場です。新入社員には先輩社員が1年間ついで仕事を教えてくれます。また全国各地に出張する機会があり、ご当地グルメを楽しむこともできます(現在はコロナ禍で自粛中)。



高嶋技研 株式会社

〒919-0614 あわら市伊井15-1-1
TEL.0776-74-0880 FAX.0776-89-0888
<https://www.takashima-giken.co.jp> tgk@takashima-giken.co.jp

設立:1964年/代表:代表取締役社長 松澤 郁夫/資本金:4,500万円/売上:9億3,800万円(2020年度)/従業員数:36人/平均年齢:36歳/勤務地:同上/勤務時間 8:30~17:30/福利厚生:各種社会保険完備、退職金制度、寮制度、資格奨励金支給制度、教育資金融資制度など。親睦会あり

インターン
受入れ企業

下のコードから
企業の公式サイトを
check!

